

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	交通指導員設置事業			
予算科目	2 款 1 項 10 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 消防・防災・安全の確保			
所管課情報	担当課:	危機管理課	電話番号(内線):	564
記入者情報	所属長:	泉 仁	担当責任者:	山岡 慎司
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	伊予市交通指導員			
根拠法令等	伊予市交通指導員規則、伊予市交通安全の保持に関する条例			
事業の目的	交通安全の保持のため、伊予市交通指導員を設置することにより、市民の安全で快適な生活の実現に寄与することを目的とする。			
事業の内容	伊予市交通指導員を設置することにより、交通安全の保持に努める。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	1,788	1,901	150	1,621
	人件費	650	874	477	874
	合計	0	2,775	627	2,495
人件費 内訳	人工数	0.08	0.11	0.06	0.11
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	650	874	477	874
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	2,438	2,775	627	2,495

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
交通指導員講習会	回	1	1	1	1
交通指導(行事派遣)	回	19	19	2	19
早朝街頭指導	回	10	10	6	9

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
		2,300	2,000	2,000	2,000	2,000

成果指標				
成果指標	交通安全街頭指導回数			
指標設定の考え方	市民に対する交通安全思想の啓蒙活動及び通学・通園路における学児童に対する交通安全のための誘導合図等の街頭活動を基本活動としているため、交通安全街頭指導回数を成果指標とする。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	30	30	30	30
実績	29	28	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	<p>早朝街頭指導や、イベント等各種行事時における交通安全指導など、市民の安全を守るための活動を実施してきた。今後は、地域の現状にあわせ、交通違反や交通マナーの悪い運転の多い箇所や、さらには発生件数が多い時間帯などでの活動を実施するなど、取組み成果向上を目指す。</p>			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	<p>地域での街頭指導や交通安全指導等に取り組むことで、市民の交通安全の保持、啓発に努める。</p>			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	道路交通法の改正により、自転車での違反に対する罰則が強化され、ヘルメットの着用も義務化の方向に動いている。今後は、特に自転車の交通安全指導を強化する必要がある。

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。